

R18



Dear Lover


親愛なる君へ

進撃の巨人 リヴァイ × エレン

※エレンが調査兵団に来たあたりの捏造まんがです。

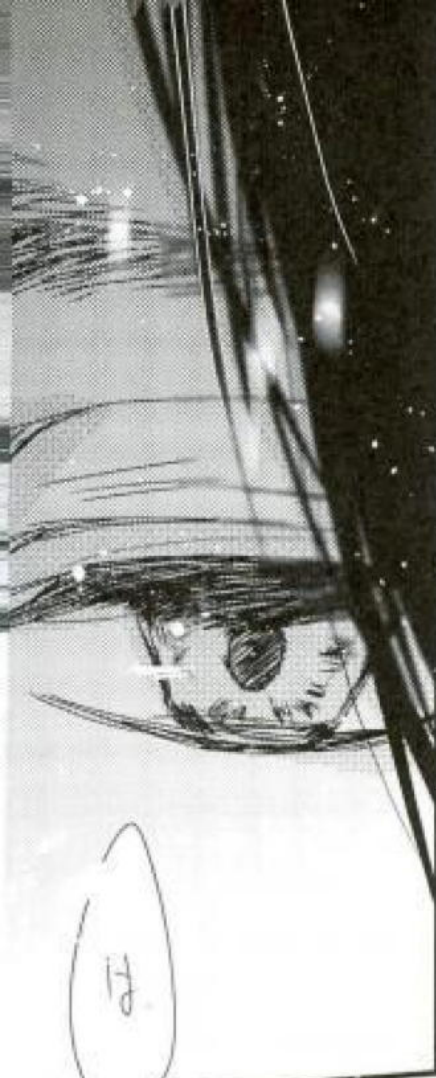
目を開けば、そこは





美しい世界が、広がっていた





は。



は。



ここは…
洞れ井戸？



…あれ、
オレ…
何でここに
居るんだろ



大切なものを
見ていた、ような

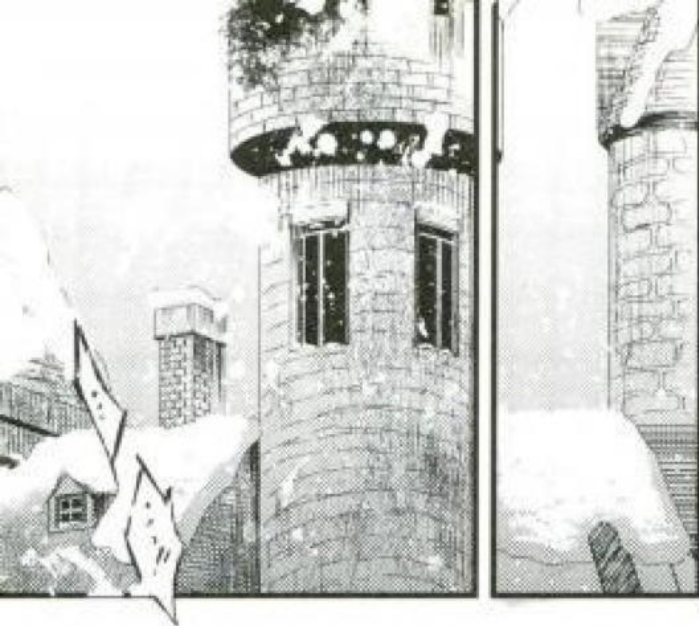


…あ、

れ…？

ほ、た、た、





…なんで、
泣いてるんだ…？



ちよっ、
兵長！
あの…！

何だ

何だ、
じゃなくて！

この位、
どうってこと
ねえだろ

兵士なら
誰でもやってる



……
……
そうかも
しれないですけど
……

……
ッ



燃料を無駄に消費するよりマシだ

フムフム

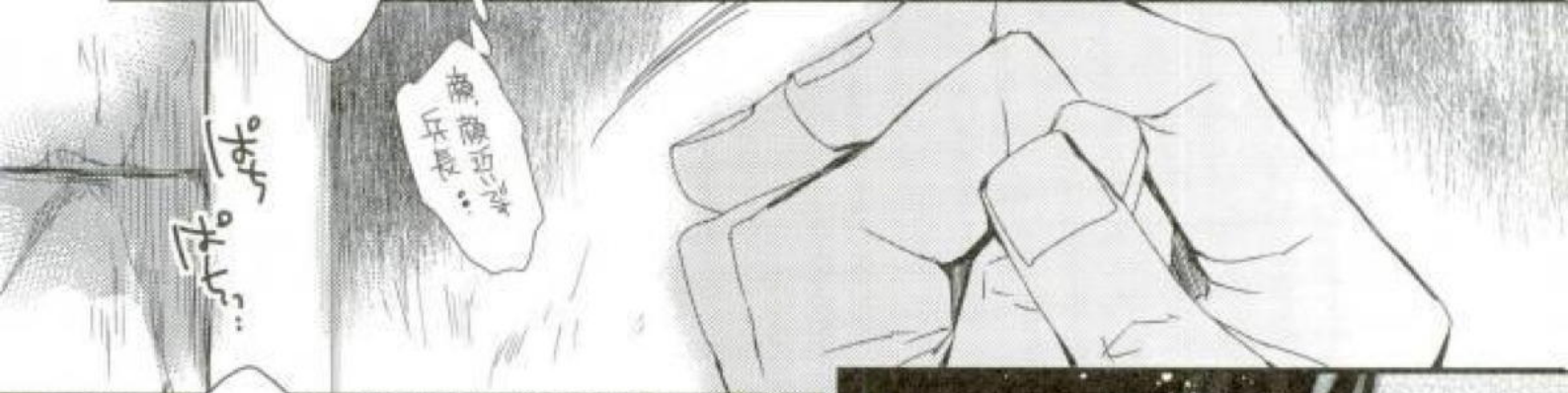
フムフム...



.....はこ...

霧 霧 霧...
兵 長...

フムフム...



...外、
すごい雪ですよ
この分だと
明日も雪かきかな

壁外遠征ま
後二週間し
ねえのに...

ブオ...



それより、昨日渡した本は読んだか？



仕方ねえ
クソメガネの話だとあと数日は雪が続くんじゃねえかって話だ



っ…
三ページ…くらい…
読みました…
あの本
文章に癖があつて…
読みにくくて

九十年ほど
前のものだからな
そのころに比べりや
まあ、言葉も
変わつてゐるだらう
地下の書庫に
あつた本だ

九十…



どうつてことねえ
架空の物語だが
お前が他人の思考と
行動について知るには
ちようどいい

知らなかつた事を
『知る』という事は、
生き方を
学ぶことに繋がる

行動の選択肢に
なりそうなのは、
一応頭に入れておくべきだ



…
スィマセン



…まあ、お前は何をしても結局感情で突っ走る奴だが



…別に目的があつて読んでたわけじゃない

?



なんか…意外です

…あの、兵長はオレに色々薦めてくれますけど兵長も、本を読んで勉強したりしたんですか？



…



あ、ハイ

…それで、今日の分は書けたのか？



はい

…直接巨人討伐に関わるわけじゃねえから強制はしねえがまあ、もう少し読んでみる



オレは今、
手記のようなものを
書いてる

…相変わらず
汚ねえ字だ

…スイマセン

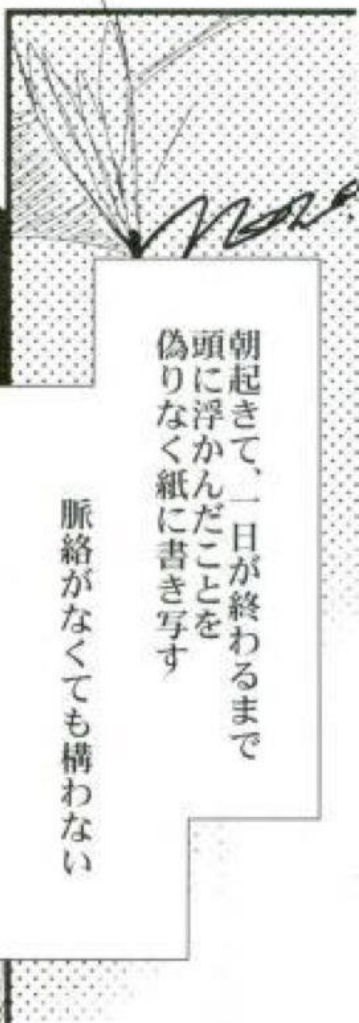


この…
…って言うのは、
なんだ？

…ホント、
なんなんだろうな
突然何かを思い出して
すぐに忘れる
その時の記憶を
思い出せてたら、
少しは役に立つか
しれねえのに



オレの記憶が、消える前に



朝起きて、一日が終わるまで
頭に浮かんだことを
偽りなく紙に書き写す
脈絡がなくても構わない



…はい



いや、お前が瞬間瞬間で何を思ったかが知りたいからな

だからこれはこれでいい



あそれシガンシナ区で使ってた方言です

『話をした』とか『一緒に居た』とかそんな意味で…

この場合は、『昨日の夜は遅くまで兵長と話をしていた』です

解りにくいですがよね書き直したほうがいいですか、やっぱ



書き留めることは大変だったけど、苦痛じゃなかった



兵長だったから



それは、オレの事を知りたいと言ってくれたのが



は…ハイ!



報告書以上の話を
俺に教えろ
お前の心が知りたい



突然そんな事を
言われて驚いたけど
知りたかった
言われた事は嬉しかった

オレの事を、化け物扱い
する人が多い中で、

この人は
オレの話を聞いて

理解したいと
思ってくれてる



それが、どんなに
心強かったか

俺は確かに、お前の
調査兵団入団を認めたが
お前を完全に
信用したわけじゃない

だが、お前が正式に
入団するなら、俺はあくまで
一人の団員としてお前を扱う

人類最強の兵士
リヴァイ兵士長

この人なら、
受け止めてくれる
と思つた

お前が自身を掌握する
きつかけにも
なるかもしれない

書くことで
頭ん中がまとまる…
なんてのは
よくある話だ

これから暫く、
頭の中の事を
手帳に書いて
全部俺に見せる

兵長と付きつきり
話をした

それからは、日々の訓練
雑務をこなす傍らで
手記を書いて、

…は

そうだな…
記憶障害については
失っちまう前に
残せばいい



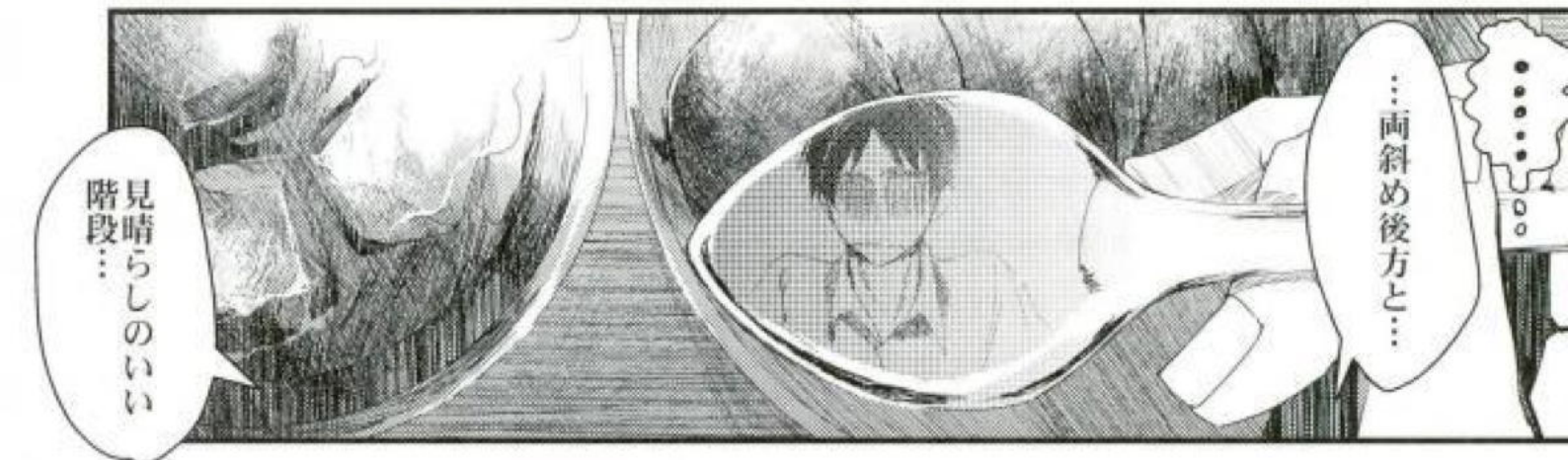
『目標を集団で尾けた時は、
何処につく?』



え…つと、まずは
脱出口を確認すること



『見知らぬ敵の
敷地内に侵入した際、
まず気を付けることは?』



見晴らしのいい
階段…

…両斜め後方と…



その方が忘れない

…はい



『見晴らしのいい高台』だ
その方が全体を把握しながら
対応することができる

お前は
大したことのない頭だ
丸っきりの馬鹿でもな
ただの言葉として
覚えるんじゃない
筋道を立てて理解しろ



あのリヴァ
兵長が人の
食べかすを
!?

リヴァイ
兵長!?

リヴァイ
兵長!

リヴァイ
兵長!

リヴァイ
兵長!

リヴァイ
兵長!

リヴァイ
兵長!

リヴァイ
兵長!

潔癖症
リヴァイ
兵長が
!?





…気が利くな



いつしか、
兵長といると
心が暖かくなる自分に
気づいた

濡らしたタオルです
目に当てると
少し楽になりますから



兵長の身体の
匂いと、視線



…ああ



よく見かけてたので…
心配してました
ちゃんと
寝て下さい




オレを、守り続けてくれる

オレの全てを知っても、
この人はオレの話を聞いて
傍に居てくれる




時折触れる身体に、
心臓が爆発しそうになる



それが
どんなに 幸せか

例えようもないくらい
幸せで、涙が出る



オレはもう
この人の事を、
ただの上官として
見ることはできな

この人を前にして
普通に話していた
自分が
信じられない

威圧感に
恐怖を感じていた
自分は、

もうどこにも居ない

この人の心に、
触れてしまった気が
するから

…今日は
記憶障害は
起きなかったんだな
また明日見せろ



はい
ありがとうございます
ございました



…うん、あの裁判で
結果的にエレンが調査兵団に
入ることになったけど



このまま何事も
なければいいけど…

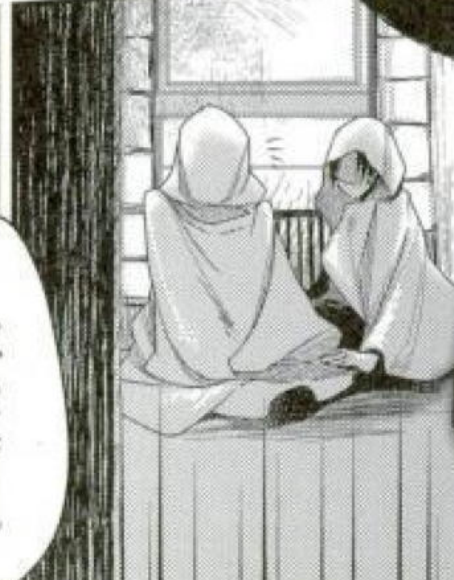


それこそ、エレンを
即処分させたい輩とか

納得してない輩は
いるだろうね



…ッ、ハンジさん



あれ、まだ
デートしてたんだけ
!?



あ、そうそう…
悪いんだけどさ
二人とも明日、雪かき
手伝ってくれないかな
ちよつと
馬小屋に積もって
心配なんだよね…
あそこ木造だし

偶然
通りがかった
だけだよ



こんな
夜遅くまで…
…リヴァイ
過保護にするのもいいけど
あんまり付き合わせたら
可哀想だよ

何しに来た、
クソメガネ

少しは
手放して
あげないと



サイダー…？

ああ、
暖かいサイダー
一杯でどう？
身体が温まるよ

そう
言わないでよ…
からかったのは
謝るからさ



一人でやれ



興味ある？？
それなら決まりだ
ねえリヴァイ

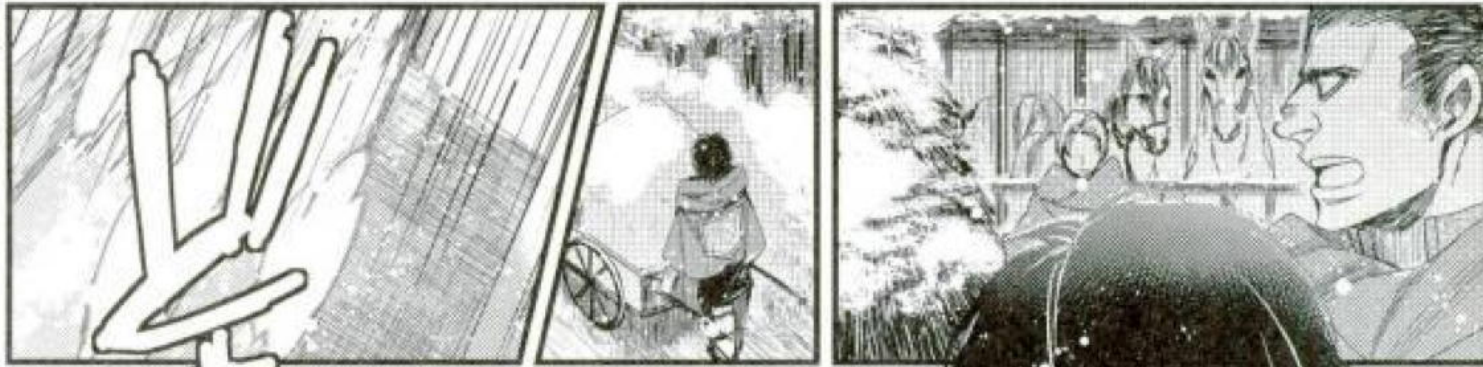
スパイスなんて
超高級品だけど…
まあ体が資本だからね
りんごは疲れを
とってくれるし
年に一回の贅沢
って感じかな



それが調査兵团の中では
冬の定番品なんだ

ああ、サイダーって言ったけど
要は暖かいジュースなんだ
りんごを水とスパイスで煮て
甘くておいしいよ
私達は
「アップルサイダー」っ
呼んでる

…仕方ねえな



アッ!





…綺麗だな



雪に光が反射して、
まるで宝石が降ってるみたいだ

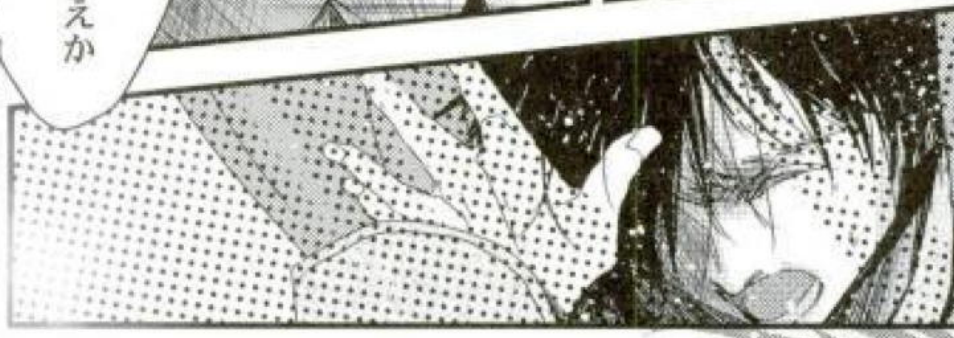


エレン!
後はやっておくから
お前は先に戻っていいぞ



はい！
ありがとうございます！

…雪だらけじゃねえか



ばを
とを！

わ





兵長



…悪くねえか



その話じゃねえよ…

え？

ほら、お前の分だ

雪

あ、兵長もそう
思いますか？
綺麗ですよ



『アップルサイダー』
ですか？

ありがとうございます…



暖かいジュースって
想像つかなかったんですが
おいしいです

りんごの
濃い味がする

…おいしい



…調査兵团には慣れたか、エレン

お陰様でなんとかいつてます皆さん、気を使って下さるので…

って、オレが巨人だからだと思っただけですけど

少しは信用されてるといいなあ…



俺はもう、慣れた

お前が何を考えているのかも、大体解る



読み返す事は
ねえのか？

そ、

それは…よかったです
オレも兵長に慣れました
兵長のおかげで、少しは
まともな兵士に
近づいた気がします

はい、
今日はまだ、少ししか
書いてないんですが…
読みますか？

…
肌身離さず
持つてるのは
結構だが

あの手帳は
持つてるか？



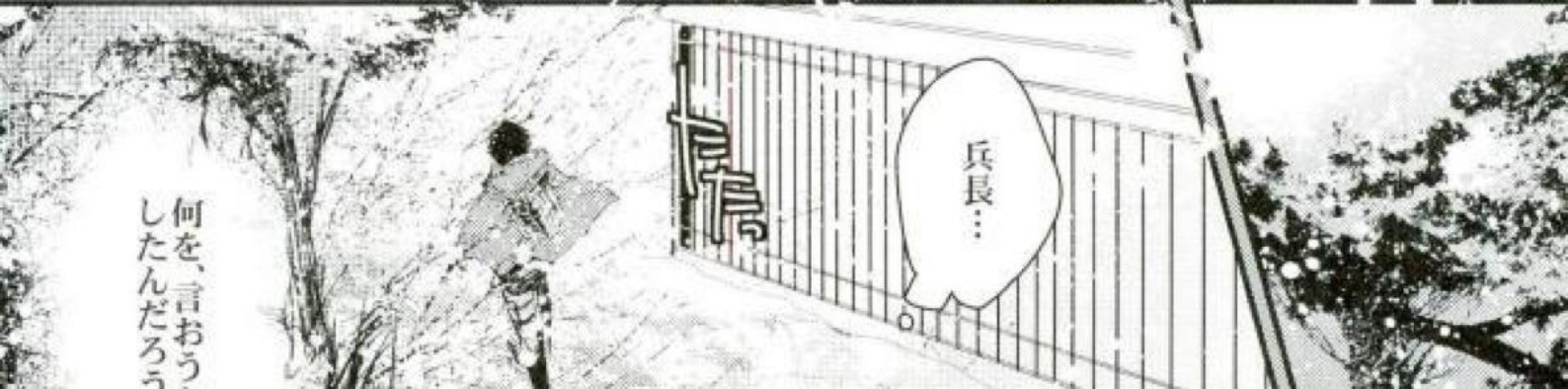
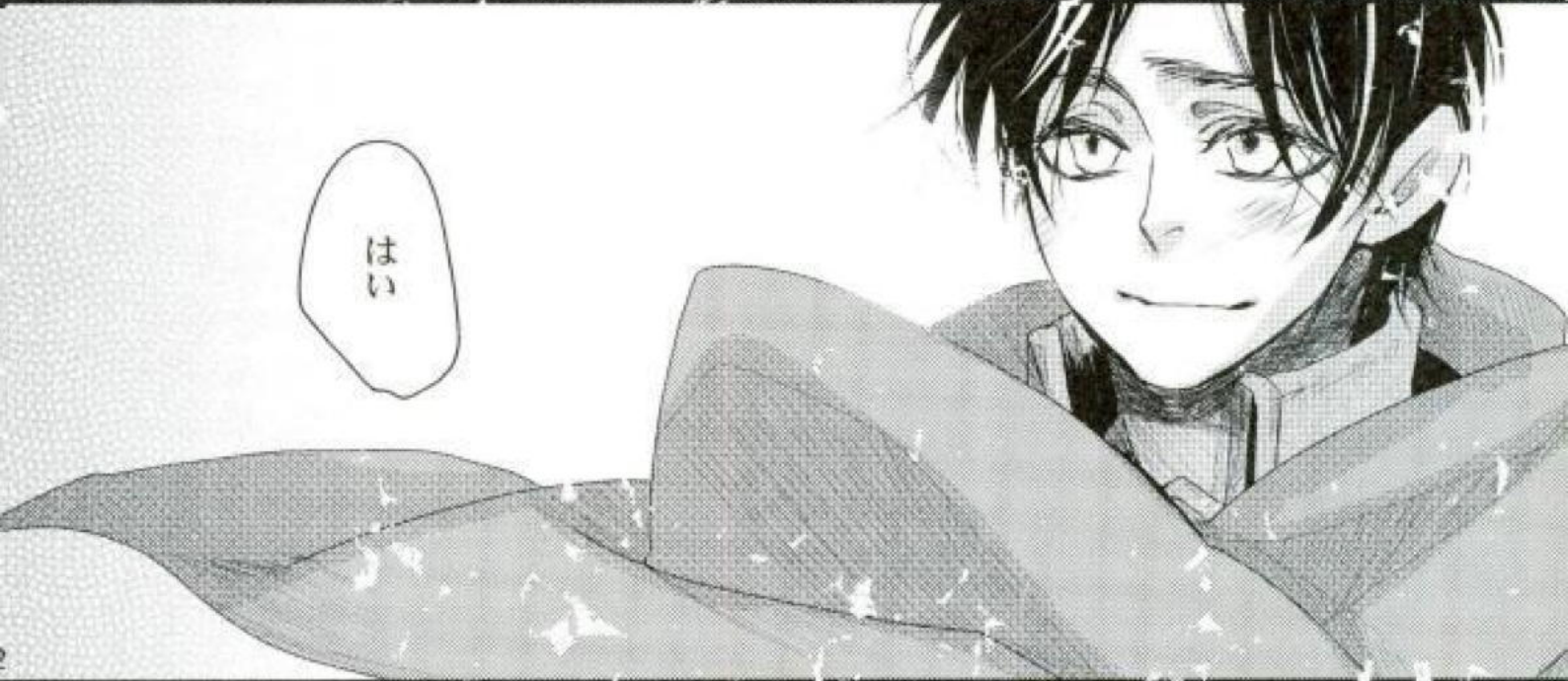
だが：
お前には付きっきりだ
この意味が、解るか？

え？



エレン！

知っての通り、
俺は少しでも汚れた物には
不快感を感じる
できれば他人に
触れたくない



『この意味が、解るか？』

はあ

兵長

は

……それは、

兵長、



ああ、除けた雪を
適当な場所に
捨ててきてくれ

はい

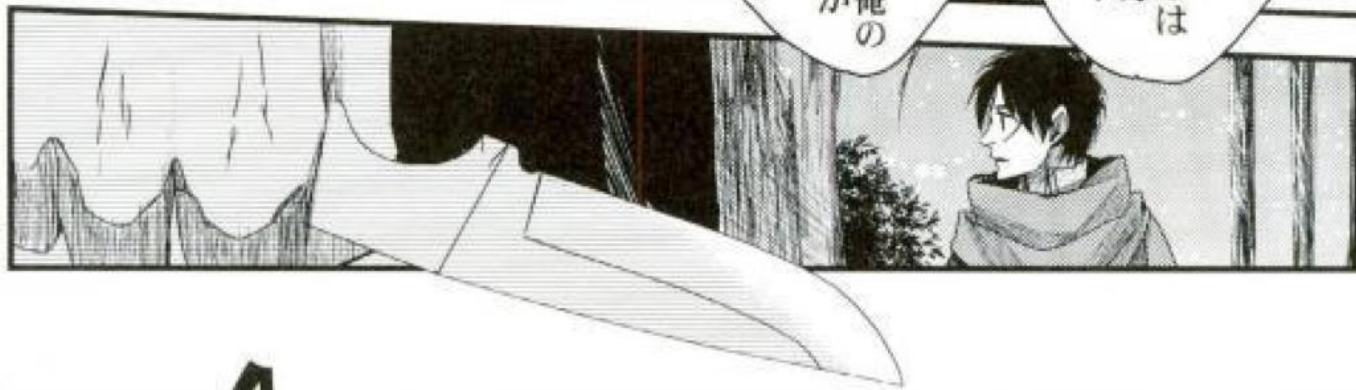


えつと…
オレは何を
すればいいですか？

フツ…また俺の
女房気取りか
ペトラ

邪魔に
なってるのは
オルオの方
じゃない…

チツ…
またお前か
精々俺の邪魔に
ならないよう
注意しろよう



エレン・
イエーガー！

…
…
…



お前が一人に
なるのを待ってた

あの
格好は、

害虫は今すぐに
殺すべきだ！

神より授かりし
壁を崇めよ

崇めぬ者は
この世から
立ち去れ！



エレンの姿が
見えねえな



…おかしいな、
どこまで
行ってるんだらう

あれ、

あつ…と、
雪を捨てに
行かせてますが…



……

ク
ユ
+
+

ト
ト
ト

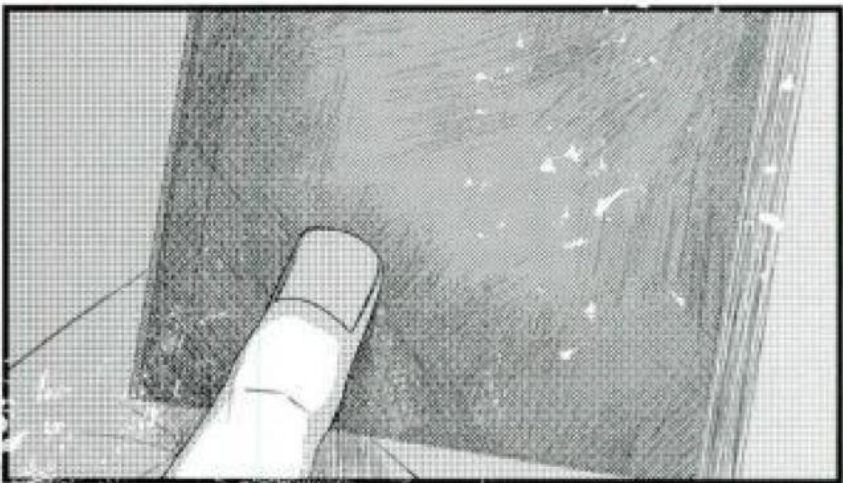




毎日 毎日
俺が書いていた記録



あるのは、



今の事も

過去の思い出も、



『兵長はいつ
メシ食ってるん
だろう』



『今日も兵長と
遅くまで話してた』

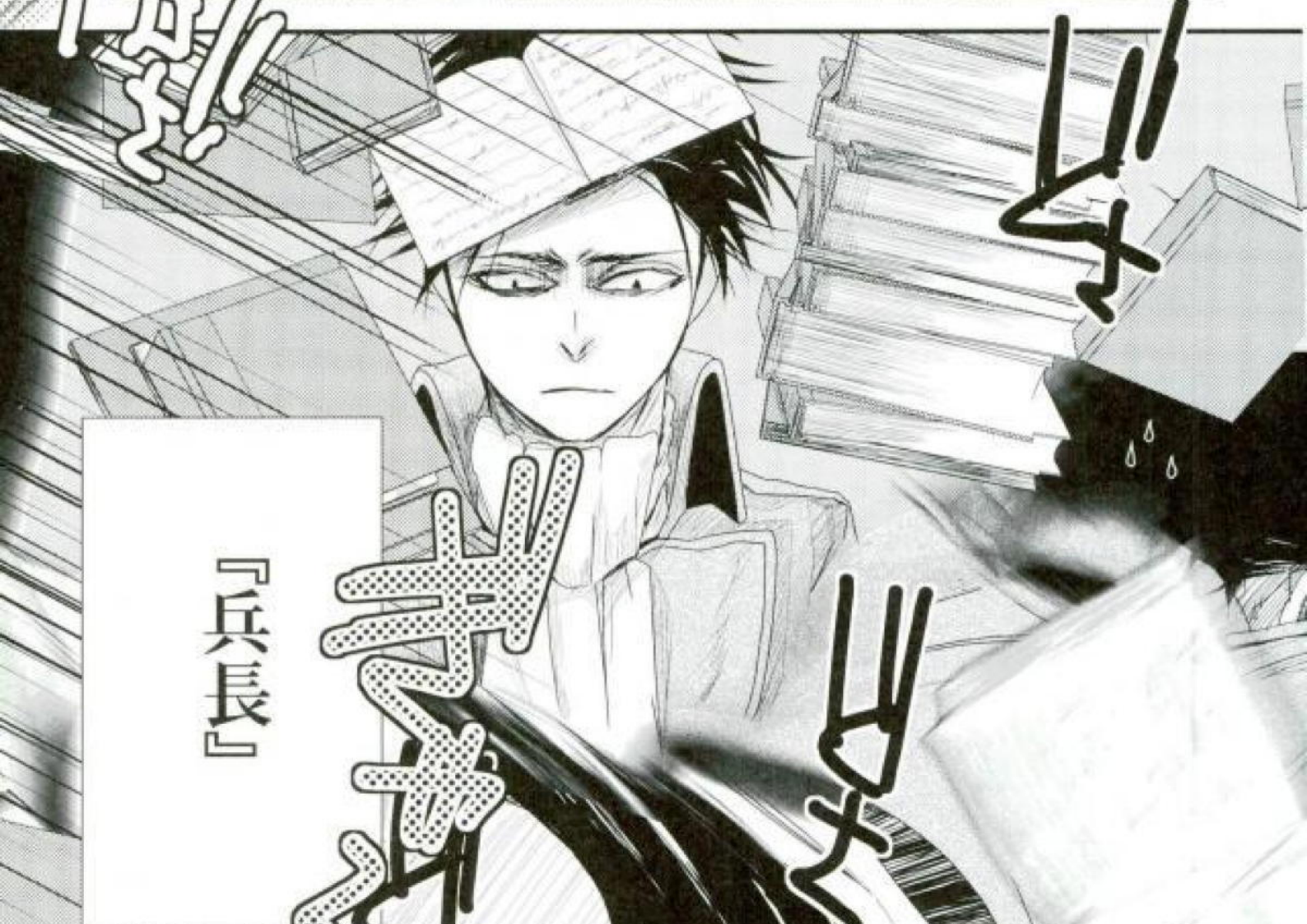


『兵長』

『その時兵長と
肘がぶつかった』



『兵長に呼び出された』



『兵長』



『兵長』

『兵長』



『兵長』



『兵長』

『兵長』

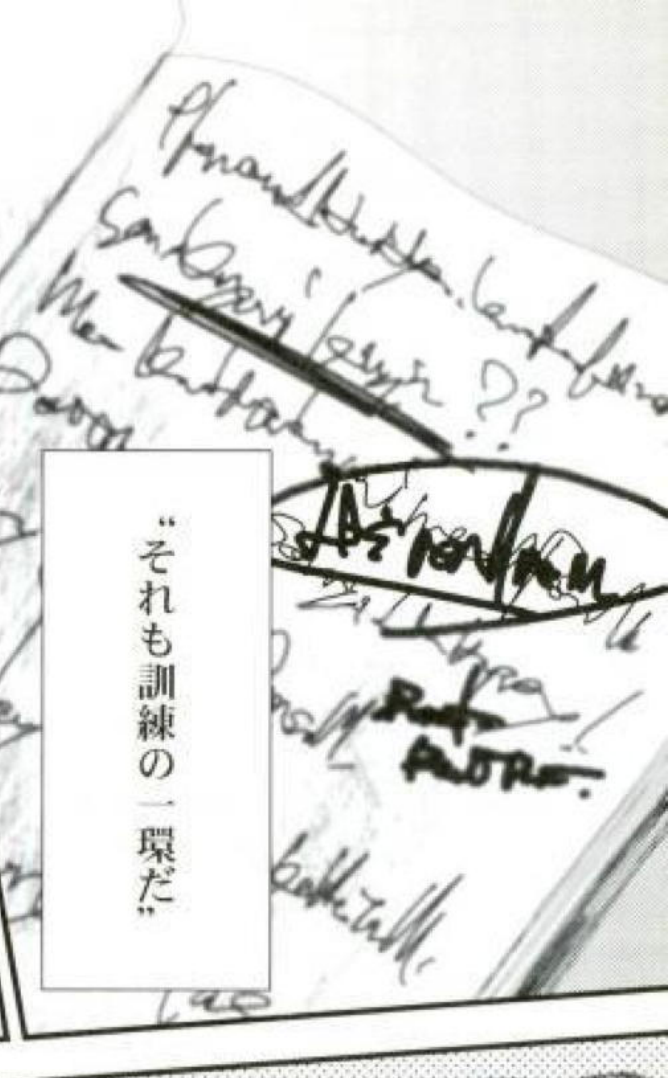


…なんか
兵長の事ばかり
書いてるな、オレ

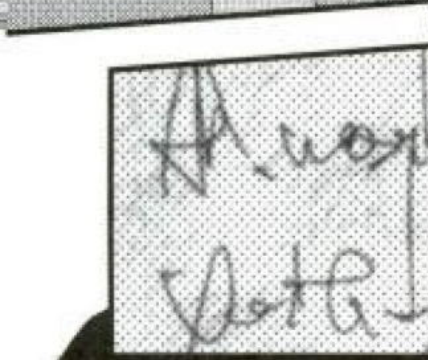
これじゃ普通に、
ラブレター
送ってるみたいだ



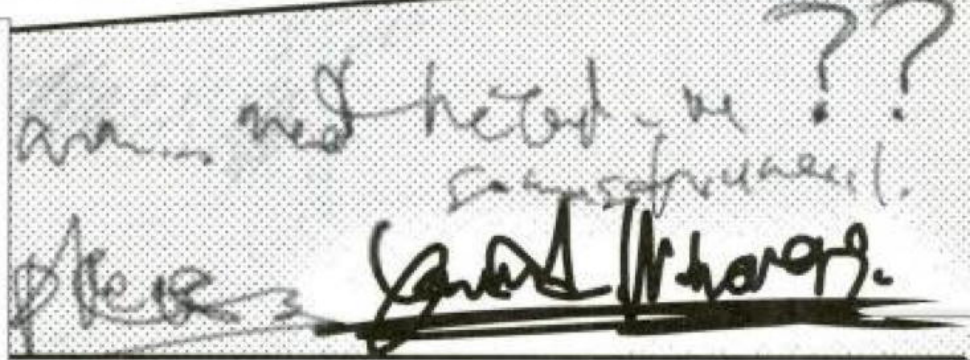
…あれ、
何か書いてあ



“それも訓練の一環だ”



“お前達の食事が終わった後だ”



“エレン”



“用事が有ったからな”



“あれは故意じゃない”



“ humans ”

些細な疑問も、細かいところも 全部

全部、返事が
書いてある

“それは…
仕方ねえ”

“また
明日教える”

“俺の言葉を、忘れるな”

『読み返す事はねえのか？』

『できれば
他人にも触れたくない』

『この意味が、解るか？』

『だが…お前には
付きつきりだ』

兵
尾
……

兵長

兵長に、逢いたい

兵長に

逢って、伝えたい



好きでござい

エレン!



……ここに

居たのか

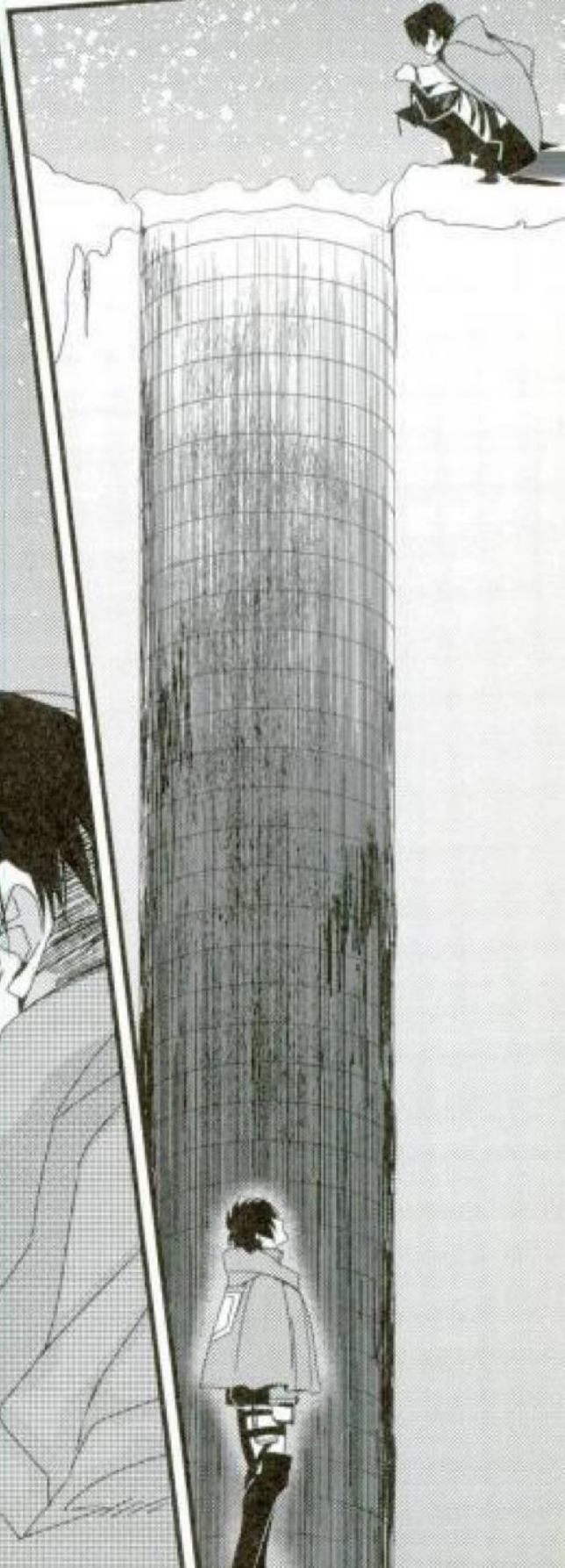


立てるか？凍傷は、



クソ、手間
かけやがって

……ッ



兵長！

オレ、
読みました！

兵長が
書いてくれた…
返事…全部！

兵長がオレと
居てくれるのは、

オレが巨人だっという
せいもあるけど

オレと同じ気持ち
だからですよ



あなたが
好きです



ずっと
一緒に居たい…



馬鹿野郎が



居たいで



エレン

...そういう言葉は
助かってから言え

トッ
ッ



お前に必要なのは、

兵長、兵長



し
：
しょうがねえな





エレン



キリ



気にするな
後はハンジに
まかせたから、
何とかなるだろ

お前が
調査兵団に入った事で
反感を抱く奴が
でるだろうと思ってたが…
逆に炙り出せて
よかったのかもな

遠征に出てる間に、
何をされない
保障もなかった



頭にクソが
詰まってる奴は
何するか
解らねえ
手酷く
いじめてやれ
二度とこっち
来れねえだろ

色々ご迷惑を
おかけして…
すいません
巨人化できれ
良かったかと
思うんですが

……
色々大変
なんですね

調査兵团も……

それはそうと、オレに
何かして欲しい事が
あったんじゃないのか？

エレン

えっ……

手帳の返事を、
全部読んだんだろ？

……ツ！！

そ、その、えっと
読みました……けど

……すみません
オレ気付いて
なくて

返事
書いてくれたの
嬉しかったです





兵長に
好きだって
言いましたけど…

ただ、同じ気持ち
だったらいいなって
…それだけです

…
して欲しいこと
なんて、
ありません



…そうか、折角
返事をしようと思
ったのにな

えっ、



知りたいか？





エレン

.....

.....

.....



兵長に
触られるのは
うれしいです



どうしたら、
いいのか



...嫌か

...すいませ

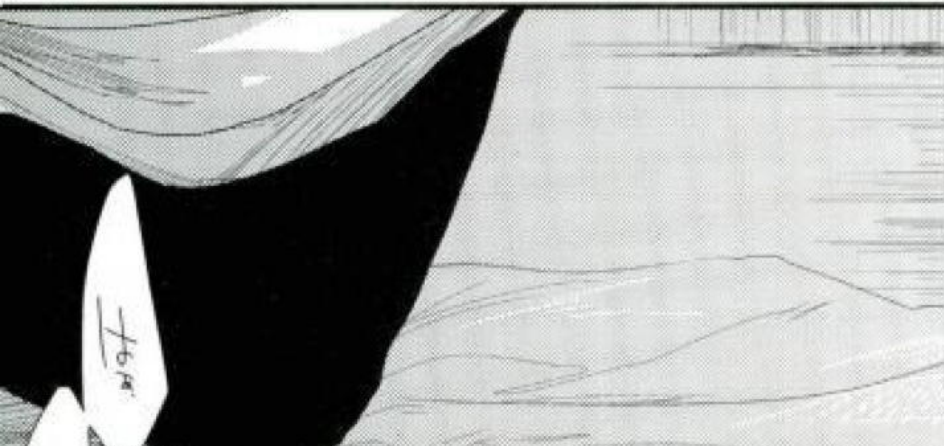
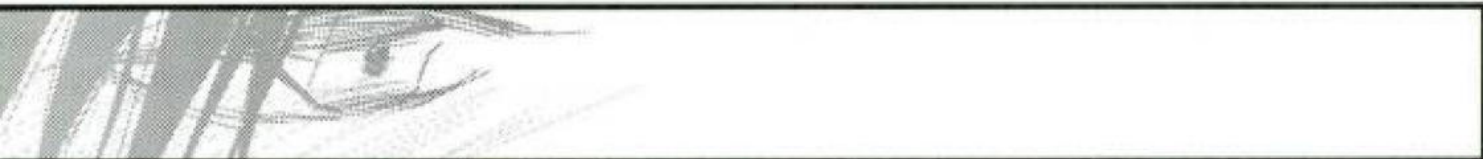




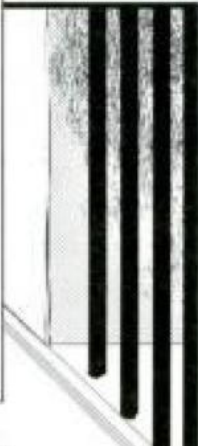
お前に
教えてやる



エレン



それからオレと兵長は、
セックスをした







は



兵長

…ッ！
そこ、ぼっかり

だめです



暖炉の火で、
照らされた
兵長の身体は



男、らしくて

…名前で呼



…はい
 リヴァイ、さん…



身体のどこかが、
 熱くなった

リヴァイさん



もっと、
 触られたくて

心が、通じ合って
 気がして

汗ばんだ身体が
 もっと欲しくて

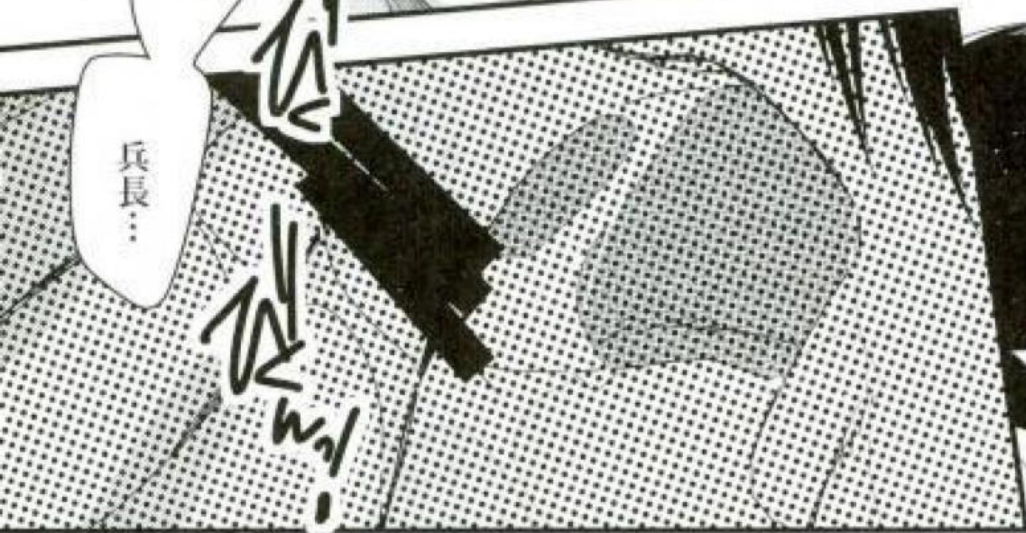
何処を触られても、
 気持ち良くて



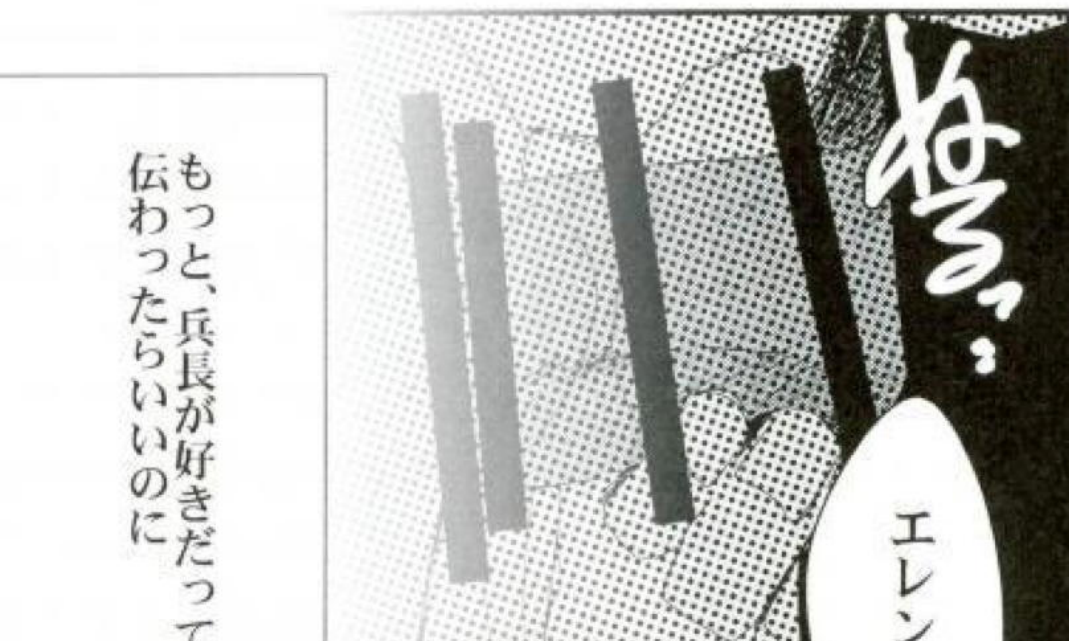
嬉しかった

兵長、

兵長…



エレン



エレン

もつと、兵長が好きだったって
伝わったらしいのに

愛されている 気がして

ぬる…

俺も、もつと
兵長を感じたい

…力を抜け

は、
はい

ぬる

ぬる

ズンズンズン

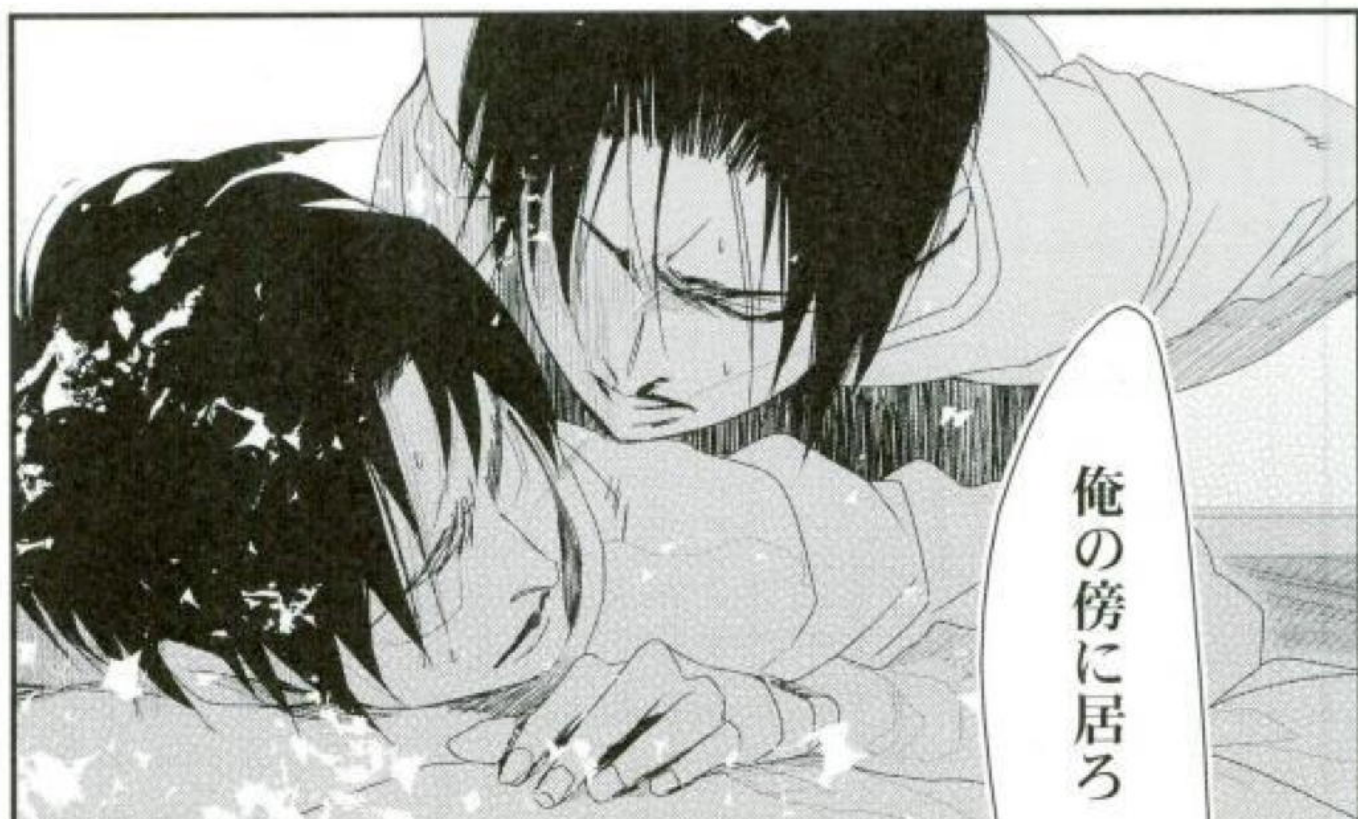
ズンズンズン

ズンズンズン

ズンズンズン

あつ……

ズンズンズン





はい…

兵長

は、
はあ、

W.



は
31



はあ



兵長、

は

はあ

は

兵長

あなたの傍に、居ます



1/10
1/10



…身体、
痛くしてませんか？



…ああ

よかった



おい…そりやあ…
俺の台詞だが

そう、ですか？
オレ、初めてだったので…
何もできなくてすみません
気持ち、
良かったですか？



14



これから壁外遠征に
行くときに…
これが支えになると
思うんです

……
オレ、この手帳
取っておいても
いいですか？
兵長とオレが
過ごした記念に

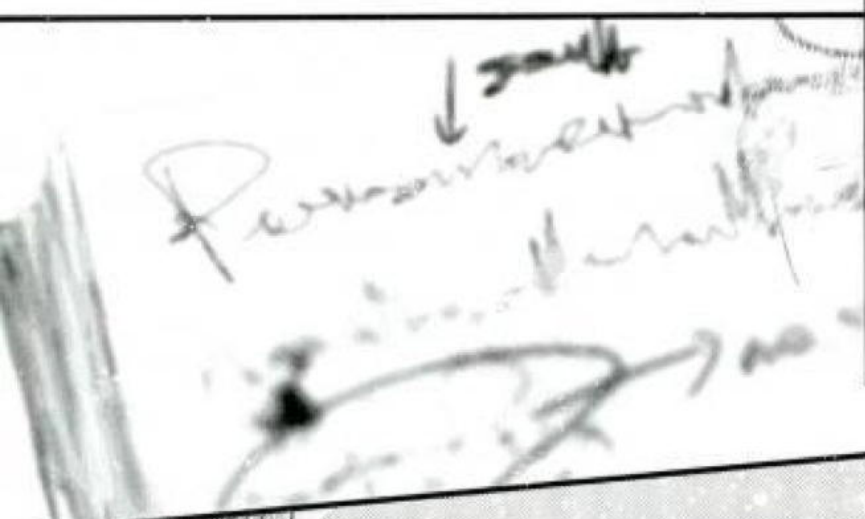


この手帳は、
もういらねえな

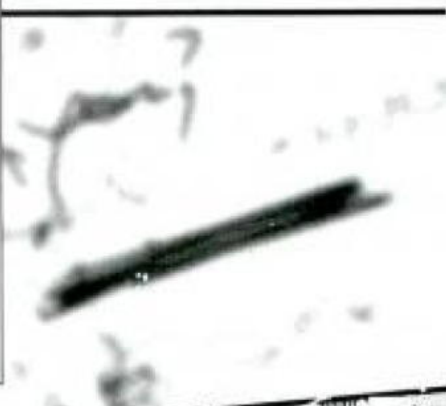
巨人の記憶は、
そう都合よく
思い出さないっ
事が解った



オレがどれだけ
この人が好きで
この人もオレを、
どう思っていたのか



ふたりで過ごした、
時間の全て



全てが、ここに
書いてある



美しい、記録

憧れていた。
怖かった。
好きだった。

あの人の視線が、オレに映るたびに
あの人の唇が、オレを紡ぐたびに
オレの身体は力が抜けて
まるで灼熱のように、どろどろになる。

そんなわけねえだろって、あの人は呆れたけど
オレにはそれが嬉しかった
少し緩んだ、優しい視線。
愛されていると、感じていた。

大切な時間と大切な記憶。
冷たい檻の中で、オレはそれを綴る。
あの人に向けて。未来を、願いながら。